

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	E 指定管理者事業
事務事業名	文化施設管理運営			事業番号	008-043
担当部署名	文化観光	局	文化	部	文化 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(4) 文化芸術の振興・国際交流の強化	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①文化芸術の拠点としての新たな需要の創出			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	文化施設の利用者数			
		寄与するKPI	有	現状値	1,049,822人(2019年度)	目標値	1,500,000人(2025年度)	
2	関連計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9	
		寄与するKPI	有	取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信			
3	事業開始年度	施策との関連	有・無	指標名	—			
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律、自由都市堺文化芸術まちづくり条例、堺市民芸術文化ホール条例、堺市立文化会館条例、堺市立文化館条例						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	指定管理者（公益財団法人堺市文化振興財団、大阪ガスビジネスクリエイト株式会社）						
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	文化施設利用者（約100万人）						
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	優れた舞台芸術を始め、多彩な芸術文化の鑑賞、創造、交流及び普及活動を促進することにより、市民文化の更なる向上を図るとともに、魅力及び活力のある地域社会の形成並びに都市魅力の創造及び発信に資することを目的とする。						
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> ○指定管理業務 ・施設の運営に関する業務（施設の貸出等） ・施設の維持管理に関する業務（保守点検等） ・文化芸術振興事業に関する業務（公演実施等） ・その他緊急時の対応等（災害時の対応等） ○施設の改修工事 ・安全に利用できるよう、経年劣化に伴う改修工事等を実施（ホール特定天井工事等） 						
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	指定管理者（公益財団法人堺市文化振興財団、大阪ガスビジネスクリエイト株式会社）						
10	公民連携・協働事業							

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 文化施設の利用者数	人	目標値	849,000	1,161,000	1,208,000		
		実績値	869,873	377,214			
		達成率	102%	32%			
当該指標を選定した理由		文化施設（フェニチエ堺、梅・西・東・美原・中文化会館、文化館）の利用促進を図ることで、市民文化の向上や都市魅力の創造・発信等に寄与するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		指定管理業務における仕様書に記載の設定人数					
12 文化施設の稼働率	%	活動指標(成果を上げるための手段)	実績		目標		
			令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		目標値	72	73	73		
		実績値	67	51			
当該指標を選定した理由		稼働率の向上により、利用者数の増加に寄与するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		指定管理業務における仕様書に記載の設定稼働率					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	文化施設管理運営	事業番号	008-043
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

（単位：千円）

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度	
	決算	決算	予算	決算	予算	
事業費 (a)	744,308	1,348,610	1,385,787	1,352,646	1,557,754	
13 財源内訳	国支出金		20,000	78,930	20,000	
	府支出金					
	市債		7,000	192,200	109,700	
	その他（基金等）	15,834	67,031	134,870	69,822	167,830
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	728,474	1,274,579	1,038,717	1,094,194	1,101,724	
14 人件費 (b)	4,100	4,050	4,100	4,100	4,100	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	748,408	1,352,660	1,389,887	1,356,746	1,561,854	

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源	
								堺市民芸術文化ホール管理運営業務
	R3 予算	551,370	405,986	R3 予算	81,075	81,075		
16 事業費内訳		R2 決算	104,037	100,295	文化施設改修等工事（枠外）	R2 決算	75,500	18,900
		R3 予算	100,418	100,293		R3 予算	274,106	65,506
		R2 決算	89,531	83,859	文化施設改修等工事（枠内）	R2 決算	54,302	4,402
		R3 予算	73,337	73,337		R3 予算	51,203	9,203
		R2 決算	128,658	115,201	その他備品購入費（枠）	R2 決算	756	756
		R3 予算	112,700	101,079		R3 予算	8,700	8,700
		R2 決算	97,109	93,730	その他	R2 決算	138,147	118,320
		R3 予算	95,992	95,992		R3 予算	208,853	160,553

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
		① 文化施設の利用者数	人
② 上記①にかかる年間経費	千円	825,589	1,083,941
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	949	2,874
備考（算出についての説明等）			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 令和元年10月にフェニーチェ堺がオープンし、文化施設の利用者数が増加することを見込んでいたが、令和元年度末から影響を受けた新型コロナウイルス感染症の拡大や工事の休館により、目標水準を大きく下回った。これにより、令和2年度の費用対効果は下がっているが、効果的な事業の実施等により利用者数の増加を図ることで事業の効率性の向上を行う。また、SNS等の活用により施設の発信力を強化するなど、文化のすそ野を広げるための取り組みをすすめ、施設利用者の増加を図る。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 堺市基本計画2025のKPI指標である「文化施設の利用者数」に寄与したものの、新型コロナウイルス感染症や工事による休館の影響を受けて、令和2年度の利用者数は前年度の半分程度となった。